

元気がいいね

東京都医師会

- 医療のいま・これから **家族の健康⑬**
- からだ・こころ・健康 **疥癬(カイセン)**
- わたしの元気 **林家 花さん**
- 拝見! 医師の一日
- お医者さんに聞きたい・答えます
- 連載コラム/救急医療⑰
- 医療 Q&A



No. 70

•とうきょう点描•

品川宿の東海七福神めぐり

旧東海道品川宿、宿場通りは江戸から平成に続くタイムトンネル。街道を南下して行くと、やがてそこは第一京浜国道に?!

林家 花さん

Hana Hayashiya

女性ということを生かして、オリジナリティーのある華やかな高座にしたいです。

紙切りは、縁起物や似顔絵、動物などさまざまな題材を一枚の紙からはさみで切り出す日本の伝統芸のひとつです。その場でリクエストに応えることもあり、お題に対して機転を利かせて表現したり、切っている最中も話芸でお客を楽しませるなど、多彩な能力を要求される難しい芸です。

林家花さんは会社員をしているときに、妹さんがカルチャースクールから持ち帰った紙切りの作品に魅了され、紙切りの世界に踏み込んだそうです。

「ちょうどとかふくろうがとでも素敵で、面白そうだと家族と話していたら、「そういうえば坂井さんのおじさん(今丸師匠)が紙切りのお仕事をしていたね」と。師匠のおかみさんと母がお友達

だったので、教えてほしいと母にお願いしてもらい、入門させていただくことになりました」

会社勤めは続けていて、紙切りは趣味だったのですが、入門から5年後に会社を辞めました。「そのときはデビューしようなんて思っていませんでした。クリエイティブな仕事がしたいとはずっと思っていたのですが、何ができるかわからなくて」

しばらくベルギーに住んで、帰って来ました。「派遣で勤めながら紙切りのお仕事もいたっていたのですが、そちらのほうが忙しくなると、どちらを選ぶか迷っていたときに、師匠が「女性の紙切りはいいし、やってみたらいいんじゃないか」と」

2008年、1年間の前座修行を終え、寄席300年史上初、女流紙切りの高座デビューが実現しました。

「最初は師匠が後見で、二人で舞台に出て、おしゃべりのほうは師匠に任せました。でもだんだん慣れてきてしゃべれるようになりました」

舞台は休めないのので健康管理は重要な仕事です。「朝は8時に起きて朝食を食べ、出番によつて時間はまちまちですが昼食、夕食も抜きません。以前から無農薬野菜を食べていて、ここ3年くらいは

毎朝、国産大豆で豆乳を手作りして飲んでいます。前日に大豆を水につけて、朝、豆乳メーカーで作ります。かせをひきにくくなったと思います」

もともと人前に出るのはあまり得意でない花さんにとって、お客さんとやりとりするのはプレッシャーでもあります。毎日、シャワーでなく、お風呂に入つてリラックスするそうです。

「あまり長湯はしませんが、ラベンダーなどのアロマをたらし、毎日浴槽につかります」

そんな花さんの得意は似顔絵シルエトです。「正面から写っている写真を見て、横顔を想像して切る練習をしました。高座では実際にお客さんの横顔を見ながら切るので難しくありません」

お客さんからお題をもらって、得意即妙に切ることもよくあります。デッサンを習ったり、美術館に行ったりして勉強するほか、新聞や雑誌などを読んで常に情報収集しているそうです。

「女性ということを生かして、オリジナリティーのある華やかな高座にしたいです。2年ほど前から日本舞踊も始めました」

パーティーでは外国人のお客さんも多いそうです。「たまに通訳がつかないことがあります。いまはまだ、切つて、簡単な英語でちょっとしゃべるくらいです。もう少し会話できるともっと楽しいと思います。いま英会話を勉強しています。今後は海外でも活躍したいと思っています」

数年後、「プリンセスハナ」と呼ばれて(？)、はさみも会話もキラッと光るステージを世界展開しているかもしれませんね。

林家 花 (はやしや はな)

本名は赤塚美和子、東京生まれ。生命保険会社に勤務しているときに紙切りに出会って興味を持ち、近所の顔見知りだった林家今丸師匠に1995年に入門。2000年に会社を辞め、ベルギーに遊学。帰国後、派遣社員として勤めながら紙切りの仕事もしていたが、師匠と相談して芸に専念することに。2008年9月に浅草演芸ホールで高座デビュー。落語芸術協会所属。ホテルのパーティーやイベント、ワークショップなどでも活躍。



疥癬

(カイセン) — 感染を拡大させない

カイセンとは

カイセンは感染症のひとつで疥癬虫(ヒゼンダニ)が人の皮膚内に寄生することで起こります。ヒゼンダニは人の皮膚に入るとトンネルを作り、そこに一日に2、3個の卵を産みつけます。寿命を終えるまでに10〜25個産むと言われています。

ヒゼンダニは人から離れると短期間で死んでしまうのですが、その間に密な人と人の接触があったり、ダニや卵が入っているフケなどにより感染してゆきます。

感染の拡大を防ぐには

一般的にはこまめな入浴などで防ぐことができますが、衛生環境が良くないなかでの集団生活を強いられる施設などでは施設内での感染の拡大が問題となります。震災などの後の避難所ではかなりの感染が実際に起こっています。

なかには同じヒゼンダニでも感染力が極めて強く、その数も

200万という桁違いに多いものもあり、このようなケースでは感染者の隔離が必要となります。

症状・治療

症状はかゆみ、腹部や脇の下、大腿部の発疹、手や指の水疱が見られ、重症ではカキの殻のような皮膚になることもあります。

治療は専用の外用薬と内服薬で行い、こまめな入浴を実施します。

大切なことは感染者の使用していた衣類やシーツなどのリネン類、使用した医療器具、入浴後の浴槽などの処置をきちんとすることにより、他の人への感染の拡大を防ぐことです。



ヒゼンダニ(雌)



原図: 大滝倫子先生(九段坂病院)、月刊「皮膚病診療」2000年増刊号より

カイセンの皮膚症状



家族の健康

16

老年期(3) せん妄

突然、大声を出して騒ぎだしたり、
ありもしないことを口走ったり、
まるで別人のようになってしまったり、
どうかしてしまったのかと心配していると、
しばらくして、普段の本人に戻り、
おじいちゃん、いったいどうしちゃったんだろう？

高齢者にこのような様子を認めたときには
「せん妄」を疑う必要があります。

せん妄とは

「せん妄」とは、何らかの原因で意識が混濁し、幻覚や錯覚などが現れている状態です。高齢者や小児、大病後などで体力が弱っている人に起こりやすいと言われています。原因としては、身体面の不調、脳血管障害にかかったことがある、薬剤の副作用、脱水、日常生活リズムの乱れなどがあげられます。特に高齢者はせん妄になりやすいので、突然の精神症状や行動異常が出現したときは、まず「せん妄」を疑う必要があります。

せん妄の症状

意識障害のため、時間・場所・人物の見当が

つかなくなり、突拍子もないことを口走ったり、落ち着きをなくし、興奮したりします。これらの症状は急激に出現し、一日のなかで変動するのが特徴です。夕方から夜間にかけて悪化する傾向があります。高齢者のせん妄は認知症の症状と似ているため、両者を区別することが大切です。しかし、実際には認知症にせん妄が合併することも多いので、区別するには注意が必要です。

せん妄の治療

まず、「せん妄」の原因となっているものを



取り除くことです。もともとの身体の病気が原因であればその治療を行い、薬の副作用であれば中止したり、薬剤を変更します。誤って薬を飲みすぎていることもあるのでチェックしましょう。高齢者の場合、脱水や貧

お医者さんに 聞きたい 答えます

訪問看護とは、
どのようなことを
するのでしょうか？



訪問看護とは看護師、保健師などが患者さんの家庭を定期的に訪問して、主治医の指示のもとに主に次のことを行います。

1 病状の観察：体温、血圧、呼吸数、脈拍をはじめとする全身状態のチェック。

2 診療の補助および医療機器の管理：褥瘡（床ずれ）の予防、処置。たん

の吸引、排便が困難な患者さんへの浣腸。点滴、栄養チューブ、カテーテル、在宅酸素などの管理。

3 食事、入浴の介助、清拭（体を拭いてあげること）、排せつの介助など。

4 機能訓練：歩行訓練や関節を動かす訓練、マッサージ、嚥下（飲みこみ）や咀嚼（噛む）機能の訓練。

5 療養の指導：患者さんおよび家族に対して、家庭での介護、看護についての助言、指導。

訪問看護は主に要介護の認定を受けた方が対象となりますが、要支援の方でも利用することができます。この場合は介護予防訪問看護といって、介護予防（要介護状態にならないようにする）を目的としたものになります。

要介護の方が訪問看護を利用する場合は、原則として介護保険を使いますが、次の場合は医療保険を使うことができます。

①末期のがん、②難病（筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、重症筋無力症など）、③急性増悪（重症になること）により主治医の指示で一時的に訪問看護の回数を増やす場合、④精神科訪問看護（介護保険と併用も可能）。

介護保険を使用する場合は定率ですが、医療保険の対象となるときは、自己負担の割合により支払額が変わります。

訪問看護は、病院や診療所で行っている場合と、独立している訪問看護ステーションの2種類があります。料金は訪問看護ステーションのほうが高めになりますが、いずれにしても主治医と訪問看護師の連携が最も重要なことなので、連携がきちんとできているところを選ぶようにしましょう。



せん妄と認知症の違い

	せん妄	認知症
症状の出現	急激に	緩やかに
日内変動	夕方から夜間に悪化	変化に乏しい
初発症状	錯覚や幻覚・妄想、興奮	記憶力の低下
症状の持続期間	数時間～数週間	長期にわたる
知的能力	一時的に低下	持続的に低下
身体の病気	背後にあることが多い	ときにある
環境の影響	影響することが多い	影響することは少ない

血、栄養状態のチェックは重要です。昼夜のリズムをつけるため、散歩や家事、デイケア・デイサービスなどを利用し、日中活動を充実させることも大切です。多くの場合、原因を取り除くと、せん妄は改善しますが、ときには抗精神病薬、抗うつ薬などを用いることもあります。



医師の一日

調布外科・消化器科内科クリニック
院長
警視庁府中警察署嘱託医

中村 尚道先生

多摩地域における監察医務業務 — 死因の究明は、死者と遺族の権利



Dr. Naomichi Nakamura

23区で発生した死因不明の急性死や事故死などは、東京都監察医務院が死体の検案、解剖を行って死因を明らかにしています。ところが多摩島しょ地域*にはこの制度がありません。多摩地域でも23区と同様の監察医務業務を行うために、制度づくりと実務の両面で長年尽力されてきた中村尚道先生をお訪ねしました。

*多摩地域と伊豆諸島・小笠原諸島

多摩地域の監察医務業務

現在東京都では、全死亡者数の約20%が検案を必要とする原因不明の病気や事故などで死亡しています。しかし多摩地域では、東京都医師会の組織である東京都多摩検案医会が検案解剖業務の委託を受けて監察医務業務を行っており、遺族の承諾がなければ解剖を行うことはできません。関係者の認識が十分ではなかったり、遺族の承諾が得られにくいことから、検案のみで済みます場合が多く、死因を見誤まることもあります。

中村先生は、「多摩地域でも23区と同様に、犯罪が隠蔽されることのないよう、また、死因究明の過程で得られる貴重な情報を医学に役立てられるよう、皆さんにご理解・ご協力いただきたい」と言います。

監察医務業務に携わった経年

中村先生は、大学卒業後に外科医として勤務しているときに、死因を解明するため病理解剖を行うことができる解剖医の資格を持つ医師が大変少ないことを知り、改めて大学の病理学教室に入り、死体解剖資格認定医となりました。現在でも、この資格を持つ医師は全国に極めて少数しかい

中村尚道先生
1955年鹿児島大学医学部第一外科勤務。日本専売公社東京病院外科、日本大学第二病理学教室助手、講師を経て、60年東京都監察医務院監察医、同年死体解剖資格認定医。66年に調布外科医院（現 調布外科・消化器科内科クリニック）を開設。74年から調布市医師会役員を歴任、88～96年同会長。89年より現在まで警視庁府中警察署嘱託医として監察医務業務に従事。警察活動への貢献により09年に警視総監賞を受賞。趣味は囲碁、七段の腕前。

医療



せつけんによるアレルギーについての報道で、「アナフィラキシーを起こした」とありましたが、アナフィラキシーとは何ですか？

(67歳、港区、無職男性)



体の免疫反応が過剰に起きること

によって生じた全身のアレルギー反応をアナフィラキシーと呼びます。原因物質として薬剤、ハチやヘビの毒、食物などがあり、これらの物質によって体に強いアレルギー反応が起き、それが筋肉や血管に作用して、息が苦しくなったり、おなか痛くなったり、吐いたり、下痢を起したり、血管のなかの血液量の減少により、血圧が下がって具合が悪くなったりします。

原因物質が体に入ってから症状が始まるまでが非常に速く、原因が薬剤の場合は、注射後5～10分ほど、ときに1分もかからないこともあります。口のまわりや口のなかのしびれ、のどがつまった感じ、めまい、動悸、気分不快、腹痛、下痢などさまざまな症状が始まり、重症の場合は血圧の急激な低下、意識消失、呼吸困難などが出現し、ときには生命の危険につながります。

治療には、速やかにエピネフリンという薬剤の注射をすることが必要です。アレルギーのある方はかかりつけ医にご相談ください。

■ 1985～2009年の23区と多摩島しょ地域の検案件数
(東京都医師会資料より作成)



「検視・検案・身元確認訓練」で後進の医師に指導する中村先生(左から2人目)(2010年8月29日東京都総合防災訓練にて)



検案書などの資料を整理・保管

いまでも多忙な毎日

東京都監察医務院に約6年勤務した後、1966年に調布に外科医院を開業し、地域の皆さんの診療を行ってきました。そして再び1989年から、府中警察署嘱託医として監察医務業務にも従事するようになりました。その頃、多摩地域の監察医務業務は多摩警察医会が行っていましたが、検案件数が増加してきて検案態勢を掌握することが困難になってきました。そのため、当時、都全体の大規模災害における検案の指揮長であった東京都監察医務院の三澤章吾院長が、東京都健康局、多摩地域に病院のある東京慈恵会医科大学と杏林大学の法医学教室、警視庁の鑑識課などの関係者を集めてほしいと、2002年に中村先生に声をかけたそうです。そこで懇話会を開催し、2004年に現在の東京都多摩検案医会の前身を発足させ、会長に就任、2008年まで務めました。

中村先生は、朝9時半から12時過ぎまで調布のクリニックで診療を行い、午後は調布市医師会顧問、調布市ちようふの里嘱託医、東京都医師国民健康保険組合理事などの職務を果たすべく各執務場所に向かいます。もちろん、要請があれば府中署に出向き、検案を行います。現在、府中署では3人の医師が交代で検案を行っています。16時から18時半までは、クリニックで午後の診療、あるいは資料整理などを行っています。

死因究明制度の確立

東京都では毎年、100以上の機関(団体)、一般市民を含めて約15,000名が参加して、総合防災訓練を行っています。この機会に、医師、警察官を対象に「検視・検案・身元確認訓練」が行われており、中村先生は後進の指導にも当たっています。

事故の再発防止、犯罪の見逃しの防止、医療関連死の取り扱いを患者と遺族、医療者の双方にとって有益なものにするなど、現在、さまざまな視点から死因究明制度の確立が叫ばれています。中村先生が長年携わってきた監察医務業務が、都民そして日本国民だれでもが恩恵を受けられる制度として発展し、構築されることが期待されています。

連載 救急医療 17 内科から見た腹痛(1)



救急医療シリーズ⑪⑫⑬「腹痛」では胃腸、肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、膀胱、大動脈など腹部の臓器そのものが原因で腹痛を引き起こす病気をとりあげました。このなかには外科・泌尿器科など、「外科系」の専門家の手を必要とする病気が多数含まれています。

しかし腹痛の原因はこれだけではありません。糖尿病や膠原病、血液疾患などの全身にわたる内科疾患の部分症状として腹痛が現れる場合もあり、心身症など精神的な問題が大きく関わっている場合もあります。これから数回にわたって、内科・心療内科など「内科系」で診療する病気をとりあげます。

糖尿病に関する腹痛

40歳以上の日本人の4人にひとりには糖尿病とその予備軍、いまや糖尿病は国民病となった感さえあります。糖尿病の大多数を占める2型糖尿病は、初期にはほとんど自覚症状のないままに病状が進行していくことが特徴です。適切な治療でよいコントロ

ールが維持されていれば症状は出ないのが普通ですが、コントロールの良くない状態が長年にわたると自律神経をおかされ、便秘や下痢が持続して腹痛に悩まされることがあります(慢性合併症)。

1型糖尿病は、血糖を下げるホルモンであるインスリンの分泌が極度に低下するため、血中の糖が異常に増加し糖尿病性ケトアシドーシスを起こす危険性が高くなります。全身のだるさや口の渇き、多量の排尿に伴って、吐き気、おう吐がしつこく続き、激しい腹痛が現れます。適切な治療をおこたると意識を失い死にいたることもあります(急性合併症)。専門医のいる病院に急がなければなりません。

甲状腺機能の異常に伴う腹痛

甲状腺ホルモンの分泌が異常に増え甲状腺機能亢進症(バセドウ病)になると、胃腸の動きが活発になり、食欲が出てきて下痢しがちになります。反対に甲状腺ホルモンが減少し甲状腺機能低下症になると、食欲は低下し便秘がちとなります。どちらも腹痛を伴うことがあります。

品川宿の
東海七福神
めぐり

来年のことをいうと鬼が笑うと言いますが、初詣の予定は年内に立てたいですね。来年は、旧東海道沿いの寺社をお参りしながら記念印をいただくスタンプラリーに行きませんか。

新馬場駅近くの品川神社で色紙を買って、東海七福神めぐりのスタートです。旧東海道沿いには、商家造りの下駄屋さんや大正時代の建物をいまに伝える豊屋さん、街道松の広場など見所がたくさん。東海七福神の寺社のほかにも由緒ある寺社が多く点在しています。鮫洲駅を越えたら旧東海道を少し離れて、釣り船や屋形船が停泊している勝島運河沿いを歩いてみましょう。

各寺社境内のお堂を丁寧にくぐっていると歩くと距離も自然と伸びて、少し疲れてしまうかもしれません。そんなときには、天祖諏訪神社をお参りして坂本龍馬像を見たら、立会川駅から大森海岸駅までの1駅約1キロは、京浜急行線に乗るのもよいかも。

色紙の販売は元旦から1月15日までです。

● 散歩コースと消費エネルギーのめやす

※普通で歩いた場合(1分間に60m・4kcal消費)

約85分・340kcal(全行程を歩いた場合)

京浜急行線新馬場駅→品川神社(大黒天)→養願寺(布袋)→一心寺(寿老人)→荏原神社(恵比寿)→品川寺(毘沙門天)→天祖諏訪神社(福祿寿)→磐井神社(弁財天)→京浜急行線大森海岸駅(約5km)

難病医療 相談会

難病医療相談会を
開催しております。

東京都内在住の
難病の皆様
ならびに
ご家族の方々への
支援を行うために

**毎月
第2木曜日
午後3時より**
(8月・1月を除く)

〒100-0001 千代田区神田駿河台2-5
東京都医師会館

専門医・保健師・
ケースワーカー

相談無料

問合せ・申込先: 東京都医師会
電話により事前予約制

☎03-3294-8821
(月曜～金曜 午前9時半～正午まで受付)

東京都医師会

この相談会は、東京都からの委託を受けて運営しています。
東京都福祉保健局 <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp>
東京都医師会 <http://www.tokyo.med.or.jp>

